



四季彩々

NO.21 2008年7月号 隔月発行
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市美江寺町2-1 教育会館内
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

全日本年金者組合岐阜県本部 第11回定期大会開催

関市文化会館において、5月15日、第11回定期大会が開催されました。



新役員が決まり、代表として県委員長・長谷川金重さんのあいさつ

支部別 仲間ふやし表

	大会時 5月15日	6月末	2000人 目標
岐阜	152	152	162
各務原	109	110	123
西濃	198	199	219
郡上	60	61	75
関	43	43	52
美濃	30	30	35
加茂	77	80	86
可児	51	51	60
多治見	202	200	211
土岐	159	161	188
瑞浪	29	29	32
恵那	674	680	732
飛騨	23	23	25
合計	1807	1819	2000

2000人の仲間ふやし 後期高齢者医療制度を撤廃

80人の代議員を前に、県委員長のあいさつで、来賓のあいさつで始まり、2年間の総括、会計の承認がありました。今後の活動方針が採択され、新執行委員が12人と会計監査員2人が選出されました。

午後からは中央副委員長・茶屋さんの「仲間づくり」について、困難な波はあるが前進していく高齢者の怒りがあるなどのお話でした。

続いて西濃支部の岸敬子さん、「近江のうたー近江でたかっつ、恋をしてー」の講演がありました。低賃金と無権利の中で仲間と戦って成長されたお話でした。



講演されている岸敬子さん

今回は、新たに6人の方が役員に選ばれました。新しい役員を2回に分けて紹介します。



県書記長 岡部 義明さん

新役員的心

瑞穂市も西の掛斐川近く、犀川の堤防下の三反ほどの耕作放棄地に梅を植え、梅園を育成中。梅は紀州南高に魅せられて、和歌山まで行って60本の苗を求めて来ました。

来年はそれぞれの幼木に数個ずつでも実るでしょうか。今は、どんどん伸びる雑草と格闘中。堤防の草も刈るのは、堆肥代わりに梅園に入れるためと時折自転車で行きかかると中学生の通学で通りかかると中学生の通学で忘れられるのです。西濃支部

路確保のため。地域の人も喜んでくれていたようです。でも、エンジン草刈り機でたつぷり2日はかかりました。

草刈りをしながら考えます。年金者組合も高齢者いじめの中でたいたかいを追らされていますが、「高齢者の生活向上」を目指すのも、目的の一つ。受身のたたかいはかりでなく、組合員の特技を生かしながら、「組合事業部」を作りたい。担当の一人は私(むふふ)。

組合内外からの注文を受けて分け合ったり、活動資金の足しにでも、なんて考えていると、草刈りも暑さを忘れられるのです。西濃支部

08・09年度 岐阜県本部・新役員

役職	氏名	所属支部
委員長	長谷川金重	西濃
副委員長	福井 信郎	岐阜
書記長	岡部 義明	土岐
書記次長	稲垣 正行	西濃
執行委員	河田 博	各務原
	村瀬 文子	岐阜
	棚橋 勝治	各務原
	藤下 馨	加茂
	可児 昭治	可児
	前田 純三	多治見
	加藤 昌宏	恵那
	江尻 辰夫	飛騨
会計監査	上谷 清	飛騨



会計担当の河田 博さん

新役員的心

始めまして、今回会計を担当することになりました。各務原支部の河田博です。会社をリタイヤして今年で二年目になるうとしています。

初めて会計という大金をあつかう仕事を是非と言われた「わたし」にやれるのか正直悩みました。支部のある人から「会計はとても大変な仕事やぞ」と言われました。

これからは、各務原支部

「パバ」さん、こんにちは。さしてわるいねえ。豊島和夫

と云われました。いま前任者の棚橋さんからしっかり教えてもらって勉強している最中です。

わたしは各務原市に住んでます。市内に航空自衛隊、岐阜基地があります。面積は約400平方キロ(各務原の約4.5%)です。基地の北側には川崎重工の航空機を製造している大きな会社も隣接しています。爆音を響かせるのでテレビを見ていても声が聞こえないくらいの中で生活しています。

これからは、各務原支部

新役員的心

感動だった！
6月24日、年金者組合恵那支部定期大会後に企画された豊島和夫さんの講演「妻を介護した28年」を約200名が聞いた。

豊島さん自身も年金者組合(各務原支部)の組合員で73歳、1974年に奥さん(当時36歳)が突然脳腫瘍のため重度心身障害者になられた。私立岐阜東高校の教師をしながら2002年に亡くなられるまでの28年間の介護生活を語ってもらった。介護の話だから暗くて重い話になるだろうと思ってたが予想以上に引き込まれていった。それは京都生まれの阿

豊島さんは今年6月10日に夢企画大地から「パバこんなことさせられるいねえ」妻を介護した28年」を出版された。当日、本を持参したが、お勧めできる本です。また、各支部で講師として招かれて話を聞かせることをお勧めします。

恵那支部



執行委員 加藤 昌宏さん

もずはカエルなど獲物を木の枝に刺し置き忘れます。人は、お金などを置き忘れて記憶がなくなる。「窓られ妄想」になる人もいます。そうです。回りの人と精神的なズレが起きます。この時「忘れたことを認められない時に起こるアルツハイマーの症状」と考えれば介護者は、冷静に対処できるそうです。忘れることが増えています。年齢と共に忘れる進行度合いが心配です。ならば、忘れることも逆転の発想で、楽しむことが出来なかと考えてみました。▼年を忘れる、暑さを忘れる、寒さを忘れる、騒がしさを忘れる、何もかも忘れる。あるある。熱中している時は忘れることは怖くない。しかしこんなことも、彼女はいろいろなことを忘れる。苦悩の失恋も忘れ、新たな恋。再出発には、未練嫌なこと忘れ酒を飲む。若いときの話しです▼

「若いときの栄光を忘れて、創造する」すばらしい言葉ですが難しい。せいぜい老化防止。そのため、読書や人と出会う、会話を大事にし、頑固さをなくしたい。そして旅をかねて山登りや散歩をしていきたい。これは、やがてくるボケや介護されることを遠のかせるための創造です▼忘れてはならないことがあります。若者の使い捨て派遣と、うば捨て医療制度です。

新しい仲間の紹介

5月から6月末の組合加入者はスゴイです。53人です。

支部名	岐阜				
各務原	山内貞義	吉川修	山本玲子	筒井真貴子	岩佐裕子
西濃	三戸三知子	宗宮賀枝子	早崎静香	柿崎初美	藤塚憲二
郡上	渡辺美智子	長浜和子	1名		
加茂	番場輝彦	後藤操	高田都美子	岡田孝子	
多治見	加藤雅之	加藤悦子	中河志保	山田ミキエ	水谷葉子
土岐	水野宗正	加藤祐二	横家明子	林恒子	
恵那	奥村安胤	川上隆三	西尾貢	青山昌三	遠山一徳
	三石忠徳	竹部哲男	前橋均	土屋明彦	奥村絢子
	松岡益代	中根政子	小谷内キミ子	山本ひとみ	
	西尾二三枝	佐々木五子	坂本ハナヨ	島袋八重子	
	大内正子	西尾千夜	竹部益子	三尾秀子	小倉雅美
	有田文彦	大山勝	尾島清次	山本修身	鈴木義規



老木のひとり琴 ①

「後期高齢者医療制度」は、「姥捨て山」現代版として、その怒りは、日本列島を駆けめぐった。「姥捨て山」の伝説はあちこちある。

あのスウェーデンでさえ、「姥捨て山」の習慣があったという。生活苦から最後や狼の住む森の中に置き去りにしたという話である。しかし、いずれにしても、それは昔のことであるが、それが現代によりがえってきた。

古いことだが、深澤七郎の「橋山節考」という小説が話題になり、映画にもなった。母親を背板に乗せて、雪がちらつく中、カラスの不気味に鳴く山に向かう主人公の姿は、今でも忘れられない。子どもが親を捨て

るなどというのはひどいことだ。捨てられる方も捨てられる方も辛い。信州のあるところの話を、月夜の晩に母親を山に捨てに行つたのだが、月を見ているうちに、耐え切れなくなって、「我が心なくさめかねつ更科や姥捨て山に照る月を見て」と歌をよみ、母親を迎えに行つたという話もある。



姥捨て山



月ではなくネオンばかり見ている永田町や霞ヶ関の政治家や役人には、この心はわからないのかも知れない。彼らは二言目には、「思いやりが大切だ」「道徳教育が大切だ」というくせに、やることは全くあべこべである。政府与党は保険料の部分軽減で、ごまかそうとしているが、このようなおためごかしに乗ってはならない。「怒」の炎を消してはならない。

福井 信郎

2008年9月8～9日 参加費 1日/2,500円 2日間/5,000円

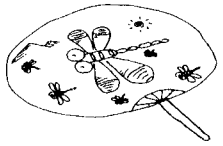
山里の夕涼み

恵那支部・一八会 山田初女 84歳

ジリジリ暑い夏ですお日様は夏になるとつよくなりす。セミさんが鳴いておうえんするから、それともムクムクと入道雲のそのせいか、さつきから風がない。ふうふう暑い、でもうちわがあれば大丈夫。ほらバタバタ、いま生まれた風がとても気持ちがいい。

私のうちではできるだけクーラーを使わないように生活を心掛けています。家の数ヶ所にうちわを置き、暑いと感じたらまづあおくことにしています。

和紙ではられた美しいうちわからあおくたびにいいにおいが立ちのぼり涼を味わえることをあらためて実感しました。語らず、戦史を胸に、戦中の真実を知る人消え行く。



詩のような言葉です。付知からさらなる山奥に夫婦で開墾に励んで来られた人です。「減反の罰金を払つても米は作る」との思いを持っておられます。文章など書いた事がないと言われましたが、書く練習をされて、一八会の文集に投稿されるようになったそうです。

宗治

文藝・浮世うた

俳句

赤い牡丹白い牡丹と咲きにけり
抜かないでと言えるカタバミ花の黄い
花石榴風にゆらぎぬ台風来
紫陽花の青みづみづし梅雨晴れ間
グラジオラス真つ赤に咲きけり力満ち
空暗し初雪を待てる午下

可児支部 林 眞津 (88歳)

川柳

塾通い道草知らぬ子が育つ
山奥に誰が歩いた古小道
高齢者手直しなんて許さんぞ
スピードを水着が争う晴れ舞台
天国が地獄に変わる秋葉原

西濃支部・いぶき川柳会・入選句
りり子
和正
隆信
勝
精司

沖繩・大宜味村立塩屋小六年の宮城夏喜さんが書いた「心のたんぽぽ」という詩です。「慰霊の日」先月6月23日沖繩全戦没者追悼式で彼が読み上げました。

心のたんぽぽ

小六 宮城夏喜

心のたんぽぽ
いりませんか
いつばいのやさしさで
出ています。

お国に一つ持つてれば
わた毛になつて
とんでつて
みんなの心でめを出します。

心のたんぽぽ
いりませんか
よごれた心
洗います。

きつとあらそいなくせませす。

組織販売だから市場より安くあります

住宅用火災警報器 全国で設置の義務化がスタート
義務化の時期は自治体で異なりますが、最終は2011年5月までに設置です。量販店で売っていますが、それより安く安心な商品です。
住宅用火災警報器とはどんなもの？
火災による煙や熱を感知して、警報音で居住者に火災を知らせるものです。
乾電池方式です。ドライバー1本で自分で設置できます。

煙探知機	6900円	(メーカー希望価格)	⇒4200円
熱探知機	6100円	(メーカー希望価格)	⇒4000円

詳しくは支部役員にお尋ねください。

地上の天の川

土岐支部 近藤 智恵子

7月5日夕方、中津川の博石館へあかりに群がる夏の虫のごとく、ほんとうに多くの車、人の中に行つてきました。びつくり、がっかりしました。

「地上の天の川」は地面に蛍光塗料をきれいに撒き散らした、特殊な光を照射しているようでした。それなりにうつくしい演出です。本物の宝石？がひかりに反応して輝いているかと期待していました。

ずーっと以前「地上の楽園」と云われて在日朝鮮人が北朝鮮に帰つたことがありました。チルチル、ミチルが青い鳥を探して捕まえてみると、灰色や違つた鳥になつてしまふ。

とりにめも無く思ひ出しました。こんなに、ウソ疑惑の蔓延、食料、原油高、温暖化、投機マネーそして通り魔、振り込め詐欺、エトセトラ、エトセトラ・・・いつばいですが、真実、信頼、安心は無いのでしょうか？

「地上の天の川」も「地上の楽園」も「しあわせ」も有るわけ無いが。なんて思いました。

編集記

本年度から新執行委員の前田純三さん、加藤昌宏さん、上宗治と三人で四季彩々の編集部が発足しました。今まで不十分さはありましたが、今後三人で知恵を出しながら、読んでもらえる面白い内容にしたいと考えています。

そのため投稿のご協力をお願いです。歌や絵、写真、怒り、笑い、失敗談、本の紹介、なんでも歓迎です。この新聞はみなさんと響き合えることが大事だと思つています。各支部よりの投稿を「新ヨメゴ」待つような「気持ち」でお待ちしています。

連絡先 土岐市妻木町三四七の一九五
電話 Fax 0572(57)3230